森に親しみ森をつくる体験

香美市と環境先進企業との協働の森づくり事業のパートナーズ協定を締結している、高知工科大学と同大学後援会、セントラルグループの２団体が地域間交流事業を開催しました。

▲セントラルグループ香美市物部の森２０１６

▲高知工科大学ー物部川共生の森２０１６

１０月２９日に**高知工科大学ー物部川共生の森２０１６**が、１１月５日に**セントラルグループ香美市物部の森２０１６**が、それぞれ開催されました。

これは、森の現状を知り、森に親しむための活動として行われているものです。

この中で参加者らは、物部町内の森林で、物部森林組合の指導のもと間伐体験を行いました。また、ＪＡ土佐香美物部営農センターや物部森林組合ストックヤードを熱心に見学するなど、香美市の林業の現場を知る良い機会となったようです。

御在所山のふもとJazzライブ

１１月１８日、香北町の梅久保公民館で、**御在所山のふもとＪａｚｚライブ＆マルシェ**が開催されました。

これは、かつて梅久保地区で活動していた青年団の元メンバーらが『梅久保・昔の青年団』として再結成し、「地域に活気を取り戻そう」と企画し実現したものです。

当日は、山奥の公民館に募集の２倍を超える約１４０人の来場者が詰めかけ、全国的に活躍する『しろくま楽団』のジャズ演奏で大いに盛り上がりました。また、田舎のうまいものを集めたマルシェも開かれ、訪れた人たちはジャズの音色が響く里山の夜を楽しみました。

人権の大切さ考えよう

１１月２３日、中央公民館で、**香美市じんけんフェスティバル**が開催されました。

これは１２月４日～１０日の人権週間にちなみ毎年開催されているものです。

当日は、小中学生の人権ポスター・毛筆・標語の表彰式、人権の花の贈呈式のほか、香美市合併１０周年記念事業として、う～みさんのじんけんコンサートや直木賞作家の山本一力さんの講演があり、多くの方が熱心に聞き入っていました。

▲講演をする山本一力さん

大盛況！ちびっこひろば

▲親子で楽しむ工作や塗り絵。子どもの成長に目を細める

１１月６日、なかよし保育園と山田養護学校で、**ちびっこひろば**が開催されました。

これは、国際児童年である昭和５３年に始まり、伝承遊びや、保育士・保護者により構成されるぜんまい座の太鼓や演劇を通して、親子の交流や親睦を図るイベントです。

午前の部では、昔遊び道具やお面作りなど、親子で触れ合いながらの工作や、おみやげひろいなどを楽しみました。

▲子どもたちの歌声が響く

午後の部では、ぜんまい座の公演が行われ、歌や劇で大いに盛り上がりました。公演では『舌切りすずめ』の劇が披露され、出演者の熱演に、会場には大きな笑い声が響いていました。

冥福を祈って 香北交通神社慰霊祭

１１月７日、香北交通神社（土佐山田町杉田）で、**香北交通神社慰霊祭**が行われました。

この慰霊祭は、交通安全協会香美支部の主催で、毎年、香北町橋川野の国鉄バス転落事故のあった１１月７日に行われています。

香北交通神社には、転落事故で亡くなられた方の他に、旧香美警察署管内で交通事故によって亡くなられた方を併せて、３２５名の方が祭られています。

▲交通事故のない世の中になるよう祈りを込めて

民生児童委員就退任式

▶小松美佐子さんの決意表明

１２月２日、保健福祉センター香北で、香美市民生委員・児童委員の就退任式が開催されました。

香美市では、民生委員・児童委員１１５人、主任児童委員６人が委嘱を受けました。任期は平成３１年１１月３０日まで。

就任者を代表して物部町久保（下）地区担当の小松美佐子さんが「つながりと調和を大切にし、地域そしてそれぞれの方に寄り添った活動を進め、地域福祉の増進に努めます」と決意を述べました。

今月発行の香美市社協だよりＮｏ．４３に各地区の委員名簿が挟み込まれています。

マーチングで火の用心

１１月１５日、バリューかがみので、土佐山田幼稚園の園児がマーチングを行い、火災予防を呼びかけました。これは、**秋季全国火災予防運動**の一環で行われたものです。

元気いっぱいのかわいらしい演奏に周りの大人たちも目を細めていました。火災の発生しやすい季節です。火の取り扱いには十分注意してください。